



# 岩手読書感想文

## 小野寺夏海さん 岩手で最優秀

12月11日、第43回岩手読書感想文コンクールで小野寺夏海さん（久慈高2年）が高校の部・最優秀賞に輝きました。

「芙蓉千里（須賀しのぶ著・角川書店）」から、人生の選択と決断の大切さを読み取った小野寺さんは「本は自分の世界や幅を広げてくれます。この本も忘れられない1冊になりました。これからも本を読み続けます」と喜んでいました。



## 市読書感想文表彰式

12月5日、第5回市読書感想文コンクール表彰式が市立図書館で開催。受賞者は次のとおりです。（敬称略。各部門①は最優秀賞、②は優秀賞、③は奨励賞）

- 小学校低学年…①女供明日香（小国小2年）②田高悠里（長内小2年）③嶋守夢佳（久慈湊小1年）
- 小学校中学年…①大矢内陽菜（大川目小3年）②清水楓斗（山形小4年）③畑中佳南（待浜小4年）
- 小学校高学年…①小倉環（小久慈小6年）②川端千春（平山小6年）③尾無末侑（長内小5年）
- 中学校…①障子上甲斐（山根中1年）②菅原悠希（待浜中3年）③伊川尚希（三崎中2年）
- 高校…①城内美美（久慈高1年）②久慈彩佳（同2年）③中村尋人（久慈東高2年）



## 中野三郎さん

中央・90歳。42年間、地区衛生班、市連合会役員等として環境衛生活動に貢献



## 大石 繁さん

山根町・83歳。41年間、端神町内会長を務め、地域活性化と交流促進に尽力



## 岡野利雄さん

巽町・78歳。49年間、巽町町内会長として基盤整備など地域の発展に尽力

# 自治会・衛生活動で全国表彰 長年の功績光る

### 【自治会活動功労】

巽町町内会前会長の岡野利雄さんと、端神町町内会前会長の岡野利雄さんが、自治会などの団体功労者として総務大臣表彰を受賞。地域の発展に力を尽くしてきた長年の功績が認められました。

12月10日、山内隆文市長から賞状の伝達を受けた岡野さんは「皆さんに協力いただき、公民館や街灯の設置など住みよい巽町をつくってこれたと信じています。ありがとうございます。大石さんは「思いがけない受賞に

### 【地区衛生活動功労】

驚き。みんなで協力しながら活動してきました。これからも地域が盛り上がりつづければ」と願いを込めていました。

長年にわたり、環境衛生活動を進めてきた市衛生班連合会元副会長の中野三郎さんが、全国地区衛生組織連合会長表彰を受賞しました。

中野さんは「久慈市と地域の発展のため、まじめに一生懸命取り組んできました。これも一日一日の積み重ね。本当にうれしく思います」と喜びを語っていました。

## 久慈地区防火ポスターコンクール



4人が入賞した日野沢小学校

久慈地区防火ポスターコンクールで市内から5人が入賞。（下記・敬称略）県の入賞は逃しましたが、芦澤美南さん（日野沢小6年）の作品は、地区代表として県消防協会に推薦されました。

【消防長賞】皆川柊花（日野沢小1年）  
【優秀賞】皆川萌々花（同4年）ニツ神叶大（同2年）  
【努力賞】中村通希（小袖小6年）ニツ神瑠夏（日野沢小5年）

## 中学生人権作文コンテスト県大会



人を思いやる大切さをつづった入賞者

第30回全国中学生人権作文コンテスト県大会で、久慈中学校の3人が入賞。（下記・敬称略）三浦千佳さん（3年）は「相手の気持ちを考えて行動してほしい。困った人がいたら、親身になって助けてあげたいです」と思いを込めていました。

【優秀賞】三浦千佳（3年）上山司（2年）林実穂（1年） ※写真左から



## 大地を守る会と 積み重ねる交流

食の流通で日本の農業を守るうと、首都圏の消費者に安全・安心な食べ物を届けている「大地を守る会」。

昭和56年に旧山形村と短角牛の取り引きが始まり、昭和58年からは「短角牛の里と都市を結ぶ集い」が開かれ、短角牛の生産者と首都圏の消費者が交流を深めてきました。

短角牛の飼育方法だけでなく、山形の自然と生活、生産者の思いに触れる「集い」。長年、積み重ねてきた交流で「顔が見える関係」ができ、生産者と消費者は固い絆と信頼関係で結ばれています。



笑顔で賞状を掲げる下館進会長（前列中央）。左は、本市との交流を重ね、短角牛を支えてきた大地を守る会の藤田和芳会長

## PICKUP NEWS

# 短角牛の里と都市を結ぶ集い実行委 絆づくり全国の 先進事例に選定

首都圏の消費者と本市生産者との交流活動を進めている「短角牛の里と都市を結ぶ集い実行委員会（下館進会長）」は12月1日、全国の先進事例に選ばれ、農林水産省から「食と地域の絆づくり」選定証が贈られました。

選定証は、食を通じた交流事業など、地域活性化を図る優れた取り組みに贈られるもの。今回は全国で23の取り組みが選ばれました。

同実行委が全国で高く評価されたポイントは、首都圏に住む消費者との交流会を開き、

短角牛の生産方法や地域の風土を伝え、短角牛への思い入れと、生産者や地域住民との絆づくりに取り組んでいること。国産飼料のみにこだわるなど、短角牛生産に熱意を注ぎ、工夫を凝らしていることも選定の決め手になりました。

昭和58年から短角牛を通じて旧山形村と交流を深めてきた「大地を守る会」の藤田和芳会長は「約30年の交流で東京の消費者と山形町には地に足がついた絆ができています。子や孫の世代まで絆をつなげていければと思います」と抱負を。下館会長は「首都圏の消費者や山形のファンが短角牛を支えてくれています。今後も山形のありのままを伝え、この良い関係をずっと続けていきたいです」と気持ちを更新にしています。

## 県木炭品評会

## 谷地 司さん

（山形町・谷地林業）

## 三連覇達成



県木炭品評会褒章授与式は11月13日、盛岡市で開催。黒炭炭の部で谷地司さん（山形町・谷地林業）が最優秀賞を獲得し、見事、三連覇を達成しました。

谷地さんは「周囲の叱咤激励が力に。1年ごとに実感とうれしさが増えています」と笑顔。「満足したらだめ。まだまだ研究の余地があります。周りから多くを吸収し、より良いものを出し続けたいです」と意気込んでいました。